

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 2 月 12 日

上場会社名 京王電鉄株式会社

（コード番号：9008 東証第一部）

（URL <http://www.keio.co.jp>）

代表者 取締役社長 加藤 奂

問合せ先責任者 総合企画本部経理部企画担当課長 紅村 康

（TEL(042)337-3131）

総合企画本部経理部経理担当課長 伊沢 衛

（TEL(042)337-3135）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 : 有

・中間連結財務諸表の作成基準をベースとしつつ、税金等調整前当期純利益に実効税率を乗じた税金費用を法人税等として計上するなど、一部簡便的な手続きを採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨て表示）

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16 年 3 月期第 3 四半期	321,761	27,687	23,843	14,694
15 年 3 月期第 3 四半期				
(参考)15 年 3 月期	419,919	35,826	29,615	14,785

	1 株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16 年 3 月期第 3 四半期	23.26	
15 年 3 月期第 3 四半期		
(参考)15 年 3 月期	22.96	22.92

(注) 四半期業績の概況の開示は平成 16 年 3 月期の第 1 四半期より行っているため、平成 15 年 3 月期の第 3 四半期実績につきましては記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況（9 ヶ月間累計）に関する定性的情報等]

当第 3 四半期のわが国経済は、個人消費が依然力強さを欠く展開となっており、引続き回復軌道の見えにくい状況下にありました。

このような情勢のもとで、当社グループでは、京王電鉄を中心として着実かつ積極的な事業活動を展開し、連結営業収益は 3,217 億 6 千 1 百万円となりました。営業利益、経常利益、当期（四半期）純利益はそれぞれ、276 億 8 千 7 百万円、238 億 4 千 3 百万円、146 億 9 千 4 百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。〔平成 15 年 11 月 25 日に公表しました業績予想（以下、前回業績予想）との比較を中心に記載しております。〕

運輸業においては、鉄道事業の輸送人員が、相模原線をはじめとした沿線での住宅開発が進捗しているほか、各駅から新宿駅など都心方面への輸送が順調に推移したことなどにより前年同期を上回るなど、運輸業全体の営業収益、営業利益はそれぞれ前回業績予想を確保する見込みです。なお、昨年 12 月 1 日に、京王線・井の頭線でダイヤ改定を実施し、朝夕の通勤時間帯と深夜時間帯を中心に所要時間の短縮や列車の増発などを行いました。これに伴い、バス事業では、一部路線での終車の大幅延長、夜間・深夜時間帯の増便を実施し、利便性の向上を図りました。

流通業においては、百貨店業で上期に実施した「阪神タイガース優勝記念セール」に続いて、「日本シリーズご声援大感謝セール」を行うなど増収に努め、流通業全体の営業収益はほぼ前回業績予想どおりを見込み、営業利益については修繕費等経費の減などにより、前回業績予想を確保する見込みです。

不動産業は、不動産賃貸業が堅調に推移しているほか、不動産販売業の販売物件増もあり、営業収益、営業利益はそれぞれ前回業績予想を確保する見込みです。

レジャー・サービス業においては、宿泊特化型ホテルの1号店「プレッソ イン東銀座」が9割を超える高稼働率で推移したほか、昨年6月にオープンした2号店「プレッソ イン神田」も堅調に推移しましたが、当第1四半期の新型肺炎 SARS による需要減退の影響が長引き、レジャー・サービス業全体の営業収益は、前回業績予想を下回る見込みです。営業利益については経費削減により、前回業績予想を確保する見込みです。

その他は、建設・土木業で季節的変動もありましたが、営業収益、営業利益は前回業績予想を確保する見込みです。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	553,122	184,227	33.3	293.44
15年3月期第3四半期				
(参考)15年3月期	530,799	167,723	31.6	263.28

(注) 四半期業績の概況の開示は平成16年3月期の第1四半期より行っているため、平成15年3月期の第3四半期実績につきましては記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期においては、総資産は、投資有価証券の時価が増加したことなどにより、前期末に比べ223億2千3百万円増加し、5,531億2千2百万円となりました。また、有利子負債につきましては、借入金の返済などにより前期末に比べ74億5千5百万円減少し、2,124億8百万円となりました。

株主資本は、その他有価証券評価差額金や当期(四半期)純利益の増加により165億3百万円増加し、1,842億2千7百万円となりました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	423,200	29,200	14,800

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 23円42銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期の業績結果を踏まえ、平成15年11月25日に公表しました通期の業績予想を見直しております。なお、特別損失において減損会計の早期適用による固定資産評価損の計上を見込んでおります。

セグメントごとの業績予想については、6ページの「【参考資料】(3)セグメント別営業収益と営業利益(平成16年3月期 予想)」に記載しております。

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

添付資料

(1) 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位:百万円,百万円未満切捨て表示)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成15年12月31日現在)		前 期 (平成15年3月31日現在)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
(資 産 の 部)		%		%	
流 動 資 産	92,489	16.7	84,895	16.0	7,594
現金及び預金	26,443		25,903		540
受取手形及び売掛金	26,533		25,127		1,405
たな卸資産	32,183		26,807		5,376
その他	7,328		7,056		272
固 定 資 産	460,632	83.3	445,903	84.0	14,728
有形固定資産	388,470	70.2	388,981	73.3	511
土地	93,145		88,350		4,794
建設仮勘定	23,233		20,778		2,455
その他	272,091		279,853		7,761
無形固定資産	3,884	0.7	4,060	0.7	175
投資その他の資産	68,277	12.4	52,862	10.0	15,415
投資有価証券	50,721		32,111		18,610
その他	17,556		20,751		3,194
資 産 合 計	553,122	100.0	530,799	100.0	22,323
(負 債 の 部)		%		%	
流 動 負 債	143,451	25.9	131,916	24.9	11,535
支払手形及び買掛金	19,602		20,397		795
短期借入金	54,323		54,935		612
その他	69,526		56,582		12,943
固 定 負 債	215,472	39.0	218,952	41.2	3,479
社債	50,000		50,000		-
長期借入金	99,934		105,301		5,366
退職給付引当金	33,611		33,660		49
その他	31,926		29,990		1,935
特別法上の準備金	9,971	1.8	11,730	2.2	1,759
特定都市鉄道整備準備金	9,971		11,730		1,759
負 債 合 計	368,895	66.7	362,599	68.3	6,295
(少 数 株 主 持 分)					
少数株主持分	-	-	476	0.1	476
(資 本 の 部)					
資 本 金	59,023	10.7	59,023	11.1	-
資 本 剰 余 金	42,017	7.6	42,019	7.9	1
利 益 剰 余 金	77,066	13.9	66,578	12.6	10,487
其他有価証券評価差額金	15,047	2.7	4,124	0.8	10,922
自己株式	8,927	1.6	4,022	0.8	4,904
資 本 合 計	184,227	33.3	167,723	31.6	16,503
負債、少数株主持分及び資本合計	553,122	100.0	530,799	100.0	22,323

(2) 四半期連結 (要約) 損益計算書

(単位 : 百万円 , 百万円未満切捨て表示)

科 目	当第3四半期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕		前 期 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
営 業 収 益	321,761	100.0	419,919	100.0
営 業 費	294,074	91.4	384,093	91.5
営 業 利 益	27,687	8.6	35,826	8.5
営 業 外 収 益	1,932	0.6	2,294	0.6
受取利息及び配当金	383		539	
雑 収 入	1,549		1,755	
営 業 外 費 用	5,776	1.8	8,505	2.0
支 払 利 息	4,114		6,132	
雑 支 出	1,662		2,373	
経 常 利 益	23,843	7.4	29,615	7.1
特 別 利 益	3,348	1.0	3,909	0.9
特 別 損 失	1,716	0.5	6,977	1.7
税金等調整前当期純利益	25,475	7.9	26,546	6.3
法 人 税 等	10,762	3.3	11,726	2.8
少 数 株 主 利 益	18	0.0	35	0.0
当 期 純 利 益	14,694	4.6	14,785	3.5

参 考 資 料

(1) セグメント別営業収益と営業利益 (第 3 四半期 実績)

(単位 : 百万円、百万円未満切捨て表示)

	営 業 収 益		営 業 利 益	
	当 第 3 四 半 期 (自 平 成 15 年 4 月 1 日 至 平 成 15 年 12 月 31 日)	進 捗 率	当 第 3 四 半 期 (自 平 成 15 年 4 月 1 日 至 平 成 15 年 12 月 31 日)	進 捗 率
		%		%
運 輸 業	98,672	75.3	16,241	84.2
流 通 業	152,659	76.9	4,400	93.6
不 動 産 業	18,486	74.8	5,156	79.3
レジャー・サービス業	68,688	75.5	1,410	54.2
そ の 他	21,503	49.7	49	4.1
連 結 消 去	38,249	-	428	-
連 結 財 務 諸 表	321,761	76.0	27,687	80.3

(注) 1 . 各セグメントの営業収益・営業利益の数値は、連結財務諸表のセグメント情報とは異なり、連結内部取引を含んだ各社単純合算の数値を記載しております。

2 . 進捗率は、連結内部取引を含んだ年間業績予想に対する数値であります。

3 . その他の建築・土木業は、通常の営業形態として、第4四半期(1~3月)に完成する工事の割合が大きいため、業績には季節的変動があります。

(2) 鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入

			当第3四半期 (自 平 成 15 年 4 月 1 日 至 平 成 15 年 12 月 31 日)	前第3四半期 (自 平 成 14 年 4 月 1 日 至 平 成 14 年 12 月 31 日)	増 減 率
輸 送 人 員	定 期	千人	263,648	262,748	0.3
	定期外	"	189,271	186,003	1.8
	計	"	452,919	448,751	0.9
旅 客 運 輸 収 入	定 期	百万円	24,150	23,914	1.0
	定期外	"	33,039	32,499	1.7
	計	"	57,190	56,413	1.4

(3) セグメント別営業収益と営業利益 (平成 16 年 3 月期 予想)

(単位 : 億円)

	営 業 収 益		営 業 利 益	
	当 期 (予 想) 〔 自 平 成 15 年 4 月 1 日 至 平 成 16 年 3 月 31 日 〕	対 前 年 増 減 率	当 期 (予 想) 〔 自 平 成 15 年 4 月 1 日 至 平 成 16 年 3 月 31 日 〕	対 前 年 増 減 率
運 輸 業	1,270	1.4	195	1.3
流 通 業	1,896	2.5	49	14.0
不 動 産 業	194	13.8	64	11.8
レジャー・サービス業	805	4.7	27	22.9
そ の 他	411	0.3	11	27.2
消去又は全社	344	-	1	-
連結財務諸表	4,232	0.8	345	3.7

(注)各セグメントの営業収益・営業利益は、セグメント内取引控除後の数値です。

以 上